

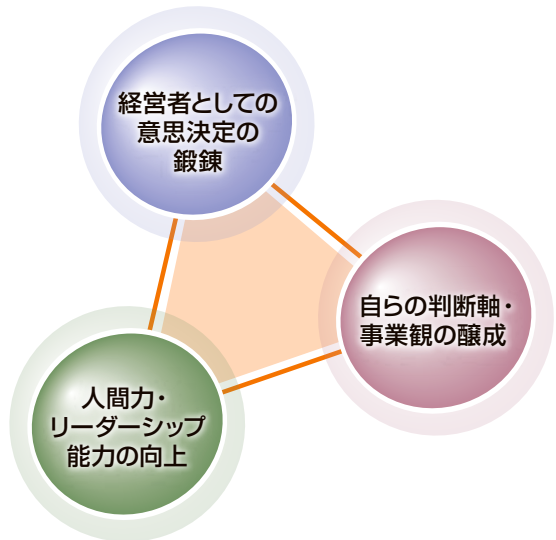
プロフェッショナル・ビジネスリーダーコース (PBL)

不確実性の高い環境において発揮できる決断力と実行力を養う。
経営視点、全体視点で行う意思決定のあり方を短期間で実践的・集中的に習得。

コースの特長

- 1 **知識と実践を統合**
経営知識と実践力を融合させ、経営の本質を理解する
- 2 **会社全体を捉える**
企業すべての機能、部門、階層、ステークホルダーなど全体像を見抜く
- 3 **リアルケーススタディ** ※On-Going Case Study®
実在の企業がケース企業になり、活きた経営情報で現在そして将来の成長戦略を考える

ケース企業に様々な経営情報を開示いただき、徹底した現場での生の情報を収集、課題解決の仮説構築・検証を繰り返して、ケース企業の経営課題を抽出し、新たな成長戦略を策定します。
最終報告会では、経営トップへプレゼンテーションを行います。



コースの概要

期間・日数、定員	2025年7月～12月(全8回・15日間)、定員24名		
参加料 (税込／1名)	法人会員 ¥1,963,500 法人会員外 ¥2,073,500		
主な対象者	■ 事業責任者として活躍が期待されている経営幹部候補者 ■ 海外子会社、グループ会社責任者としての活躍が期待される方 ■ 全社的視点を養いたい部長、マネジャークラスの方		
過去の参加企業 (法人格略、一部、会社名当時) ※50音順	<div>・アールエヌティーホテルズ ・アイシン ・石屋製菓 ・エプソンアトミックス ・キヤノンITソリューションズ ・共立ホールディングス ・クラシエ ・クラシエ製薬 ・コスモエネルギーホールディングス</div> <div>・コマニー ・サザエ食品 ・住友商事 ・関ヶ原製作所 ・積水化成成品工業 ・月島食品工業 ・TSネットワーク ・東京エネシス ・東京フード</div> <div>・鍋屋バイテック ・ニコン ・ニコンソリューションズ ・日鉄ソリューションズ ・日本カルミック ・日本キャンパ ・日本軽金属 ・日本政策金融 ・プローバ</div>		

プログラム概要(2025年度予定)

プログラム(全8回・15日間) ※自主チーム研究討議含む

単位	日程	テーマ	各単位のポイント
1	2025年7月 3日間(合宿) ケース企業	経営とは、事業とは 経営のプロフェッショナルに求められるもの 「戦略プロフェッショナルの視点・思考」 1)「経営戦略基本理論」 2)「問題発見と議論深耕の方法論」	経営課題の抽出 ・ケース企業経営者講話 ・経営者対話 ・ケース企業視察(本社・工場・施設) チーム編成およびテーマ検討
2	8月 2日間(通い)	ビジネスモデル、財務・会計(管理会計) 経営のプロフェッショナルに求められるもの 「企業戦略とビジネスモデル」「財務情報に基づく企業・事業価値評価」 1)「ビジネスモデル」 2)「アカウンティング/ファイナンス」※通信教育	研究テーマの選定、決定 仮説構築 ・ケース企業の経営環境・競合の理解 ・討議「チーム研究進捗報告・情報共有」 ・ヒアリング内容の検討 ヒアリングスケジュール決定→ケース企業へ打診
3	9月 2日間(合宿) ケース企業	戦略立案 経営のプロフェッショナルに求められるもの 「経営課題の明確化」ヒアリング①	仮説検証 ・経営者、現場関係者→実態調査ヒアリング ケース企業 第1回ヒアリング チーム研究進捗報告・情報共有
4	10月 2日間(通い)	戦略的意思決定 実行へ向けた実践力の深化 「競争優位実現のための戦略的意思決定」 「戦略課題解決策のシナリオ構築」①	仮説再構築 ・提言内容検討および深耕 ・第2回ヒアリング内容の検討
5	10月 2日間(合宿) ケース企業	人と組織 実行へ向けた実践力の深化 「経営戦略と人材・組織戦略」 「戦略課題解決策のシナリオ構築」② 「経営課題の明確化」ヒアリング②	仮説再構築 ・提言内容検討および深耕 ケース企業 第2回ヒアリング 中間報告
6	11月 2日間(合宿) ケース企業	戦略立案 実行へ向けた実践力の深化 「シナリオの検証と深化①」ヒアリング③	仮説再検証/アクションプラン策定 ・経営者、現場関係者 →仮説検証のためのヒアリング ケース企業 第3回ヒアリング
7	11月 1日間(通い)	戦略立案 実行へ向けた実践力の深化 「シナリオの検証と深化②」 「戦略課題解決策のシナリオ再構築」	仮説再検証/アクションプラン策定 ・最終報告へ向けた準備作業 個人プレゼン チーム研究進捗報告・情報共有
8	12月 1日間(通い) ケース企業	戦略提言 経営実践力の集大成 「プロフェッショナル・ビジネスリーダーへの自己変革」 「これからの企業戦略と経営リーダーとは」	ケース企業経営陣へ最終報告会 ・経営提言と評価 ・表彰 同期会結成

※日程・プログラム内容等は変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。

2024年度ケース企業※2025年度は調整中

石屋製菓株式会社
(本社:札幌市西区宮の沢2条2丁目11 番36号)
創業:1947年(昭和22年)
設立:1959年(昭和34年)
事業内容:菓子製造業

講師陣(敬称略)


岡田 正大
慶應義塾大学大学院
経営管理研究科
教授


犬飼 知徳
中央大学
戦略経営研究科
教授


籠屋 邦夫
ディンジョンマインド社代表
ディンジョンアドバイザー
中央大学ビジネススクール
客員教授